

広報

みんなで作る、未来へつなぐ。  
あふれる笑顔、びらとり。

2019

3

No.682



# びらとり



平取町ブーツホッケー大会 2月11日



遊歩道照明灯

平成 28 年度から事業が進められてきた二風谷アイヌ文化博物館周辺の工事が今年度で完了し、新たに「二風谷コタン」として整備されました。

国道脇に設置した新しいメインサインが来訪者を出迎えます。トイレを移築して、国道側からの見通しが良くなり、アイヌの伝統家屋である「チセ」が集まる復元された「コタン」を見渡すことができるようになりました。

以前、駐車場だったエリアが、せせらぎや池を配した芝生の広場となり、その周りのチセを来訪者が自由に見学できるよう遊歩道を整備しました。遊歩道には昔の矢筒をイメージし、アイヌ文様を施した照明灯を配置し、夕暮れ時から幻想的な雰囲気を演出しています。また地域の方や来訪者が憩うことができるカフェやチセ風のあづま屋も新たに整備しました。



新しいメインサイン

# 二風谷コタン

二風谷アイヌ文化博物館周辺整備

「二風谷コタン」は、先住民族であるアイヌの文化や歴史を学び、現在の生活の様子を感じつつ、未来を想像する場所として整備しました。アイヌ語の「コタン」は、日本語では「むら」や「集落」を意味します。アイヌはその暮らしぶりを時代の流れとともに変化させつつ、有形・無形の伝統を現代に継承し発展させてきました。多くの方にアイヌ民族の伝統的な「コタン」の景観やアイヌ伝統工芸の世界に触れてもらい、この「二風谷コタン」でアイヌの精神文化を体感してほしいと思います。



さらに、二風谷共同作業場に代わる施設として、平成 29 年度から工事が進められていた「平取町アイヌ工芸伝承館（ウレシバ）」が今年度完成しました。アイヌの伝統的工芸品の制作活動の場として利用するとともに、広く多くの方に活用される施設となるよう運営していきます。

※二風谷コタンとウレシバのオープンを記念して、次のとおり記念講演会とオープニングセレモニーを開催します。

### 記念講演

期日 4月12日（金）18:30～  
 会場 ふれあいセンターびらとり視聴覚ホール  
 講師 GSデザイン会議 代表 篠原 修 氏  
 ナグモデザイン事務所 代表 南雲勝志 氏

### オープニングセレモニー

期日 4月13日（土）10:00～  
 会場 平取町アイヌ工芸伝承館「ウレシバ」



カフェ（休憩所）

# 平取町アイヌ工芸伝承館 「ウレシバ」



平成 29 年度から 30 年度にかけて、建設工事、備品などの整備を進めてきた平取町アイヌ工芸伝承館「ウレシバ」（愛称）については、従来の平取町民芸品共同作業場に体験交流を通じたアイヌ工芸の魅力発信や人材育成機能を付加した施設となっており、昨年 10 月から仮オープンをしていましたが、本年 4 月から、人員を配置して正式にオープンします。

施設は、二風谷生活館に隣接した場所となっており、二風谷アイヌ博物館エリアから民芸品店エリア、萱野茂二風谷アイヌ資料館をつなぐ施設となっています。

「ウレシバ」とは、アイヌ語で「育てあう」という意味を持っており、施設の機能としては、木彫・アットゥシを制作するスペースや染め物なども行える手仕事スペース、オヒョウの樹皮を煮る釜場、レーザー加工機を設置しているレーザー加工室、木彫の機械作業を行う機械加工室、会議・研修が可能な研修室などとなっています。



この施設の整備にあたっては、農林水産省の交付金を活用しており、アイヌ伝統工芸の実演や制作体験プログラム、地域資源を活かした体験プログラムを地域の関係者が連携した体制のもとに実施し、交流人口の増加を図っていくこととしています。

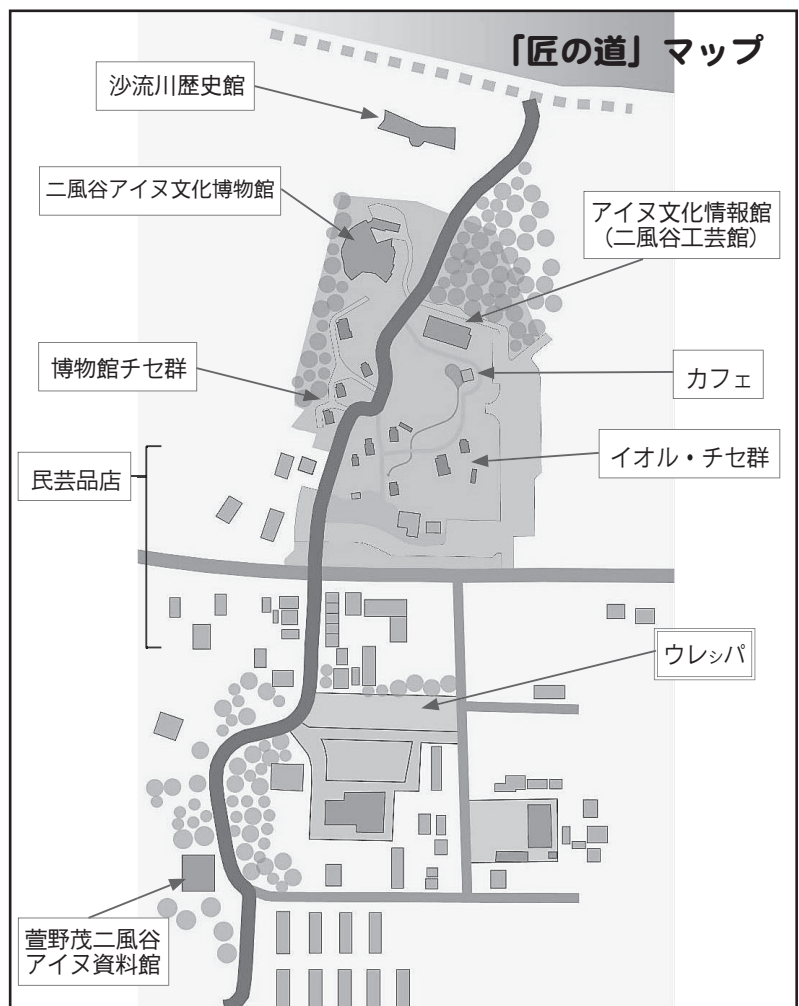
なお、使用の申込みなどについては、まちだよりに掲載しますので、ご確認願います。



「アットゥシ」スペース



手仕事スペース



# 人が集い、町がにぎわい、 仕事を創り、町を育む」 プロジェクトを推進中！

## ～平取町地域活性化協議会第3期1年目の活動報告～

平取町地域活性化協議会（以下、協議会）は、平成24年度から29年度までの各3年間2期の活動を経て、平成30年4月より北海道労働局から「実践型地域雇用創造事業」を受託し第3期目をスタートしました。

人口減少が進み、各産業における担い手不足の課題が明らかになるなかで、町民が集うことから交流と町の賑わいが起こり、地域にニーズに応じた仕事を創り出し、豊かな町に育んでいくことを目指しています。「町民チャレンジプロジェクト」と題して、町民、事業者のみなさんと協議会が連携した積み重ねを、若者から年配の方々まで働き住み続けたい平取につなげていく取組みを始めています。

### ◆にぎわい交流館陽だまり

地域のみなさんが集いやすい場所をつくるため、本町市街地の飲食店跡をお借りして2階に協議会の事務所を設け、事業推進員2人、実践支援員4人の6人体制で活動しています。1階は町民同士の交流や情報交換、新たな事業を始めたい人が利用できるスペースとして貸し出しも行っていきますので、ぜひお立ち寄りください。



### ◆就職・創業志望者、求人事業者のための講座の開催

平取町の地域資源を活かした仕事づくりを目指して、「歴史と文化に携わるアイヌ文化ガイド養成講座」、二風谷に整備された平取町アイヌ工芸伝承館（ウレツパ）を利用した「ものづくり従事者養成講座」、「地域資源PR講座」、地域の食材を活用する「多様な地域食の提供方法講座」、空き室や空き家を活用できる「民泊・農泊推進講座」、自宅でも仕事ができる「ネット販売促進講座」や「CAD・イラストレーター初級講座」のほか、就職面接会やホームページによる求人情報の提供なども行っています。

### ◆商品開発を通じた仕事づくり

2つのテーマを持っています。一つ目は「アイヌ文化のまち滞在交流促進プロジェクト」です。宿泊を伴う滞在型観光は、地域の消費と雇用を促進することから、ウレツパを拠点とした体験プログラムや土産品の商品開発などを行っています。二つ目は、「びらとりの賑わい活力創出プロジェクト」です。義経神社などの周遊ルートづくり、地域の食材を活かした土産品の商品開発や町民によるフリーマーケットの場の提供などを行いながら、本町市街地が町内外の多くの人で賑い、消費と雇用につなげる取組みを行っています。今後ともみなさんのご協力をご参加をよろしくお願ひします。



ものづくり講座での椅子の制作



アイヌ文様入りまぐボトルとタンブラー



町内の栗を使った焼き菓子

**連絡先** 平取町地域活性化協議会 〒055-0107 平取町本町40-3 にぎわい交流館陽だまり

TEL: 2-3091 FAX: 2-3092 <月～金> (土・日・祝除く) 8:30～17:15

**事務局** 平取町アイヌ施策推進課 TEL 2-2341

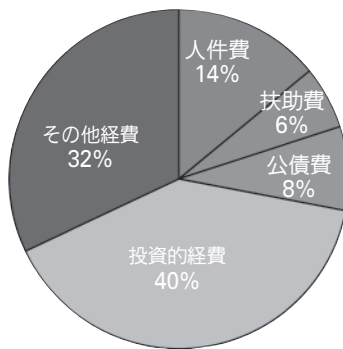
# 平成 29 年度 一般会計決算報告

平成 29 年度の一般会計の決算状況をお知らせします。

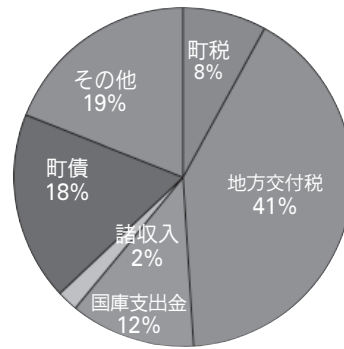
歳入総額は 70 億 6,023 万円、歳出総額は 69 億 7,359 万円となりました。町の貯金となる基金は前年度末より 7,337 万円減り 25 億 9,225 万円、また町の借金となる町債の残高は 7 億 3,407 万円増え、73 億 4,333 万円となっています。地方財政の状況は、依然として先が読めない厳しい状況です。

今後も総合計画を基調とし、効率的な財政運営のもと、地域経済の振興と町民の生活支援を最優先課題とし、未来を見据えた行財政運営に努めます。

## 歳出 69 億 7,359 万円



## 歳入 70 億 6,023 万円



各項目の%は構成比

区分	決算額
人件費	10 億 0,020 万円
議員の報酬や職員の給与などの経費	
扶助費	4 億 3,868 万円
児童手当などの支給および町が単独で行う各種扶助のための経費	
公債費	5 億 5,241 万円
道路の整備や住宅の建設のため、国や金融機関から借りたお金の返済	
投資的経費	27 億 6,164 万円
公共施設や公用施設の新増設事業に必要とされる経費	
補助事業	15 億 0,195 万円
単独事業	9 億 8,842 万円
災害復旧費	2 億 7,127 万円
その他経費	22 億 2,066 万円
旅費、交際費、需用費や町から一部事務組合や民間に対し補助する経費など	
物件費	9 億 0,721 万円
維持補修費	9,879 万円
補助費等	5 億 4,554 万円
積立金	3,333 万円
貸付金	5,372 万円
繰出金	5 億 8,207 万円
<b>歳出合計</b>	<b>69 億 7,359 万円</b>

区分	決算額
町税	5 億 2,704 万円
町民税や固定資産税、軽自動車税などみなさんが町に収めた税金	
地方交付税	28 億 8,283 万円
国が地方公共団体に対して交付するもの	
国庫支出金	8 億 2,369 万円
町が行う事業に対して一定の割合で国が補助する	
諸収入	1 億 6,715 万円
町民が住宅を建てるために貸したお金の償還金や負担金など	
町債	12 億 4,443 万円
町が公共施設などの整備にあてるため、国や金融機関から借りたお金	
その他	14 億 1,509 万円
分担金・負担金	2,939 万円
使用料・手数料	1 億 3,798 万円
道支出金	7 億 2,044 万円
財産収入	7,278 万円
寄付金	8,366 万円
繰入金	10,000 万円
繰越金	7,138 万円
その他	1 億 9,946 万円
<b>歳入合計</b>	<b>70 億 6,023 万円</b>

※入湯税の決算額 126.7 万円はファミリーランド施設整備事業に充当しました。



# まちのひろば



## 初午祭 (2/2)



初午祭が義経神社で行われました。矢刺しの神事では、今年の凶方、巳の方・南南東に矢を放ち、手にした参拝者から喜びの声があがっていました。

## ブーツホッケー (2/11)



振内小学校のリンクで町内から9チーム82人が参加し、ブーツホッケー大会を実施しました。

氷点下の日が続く中、転びながらも一生懸命に走り、選手は汗まみれになりながら戦いました。

優勝 JAびらとりバレー部 (JAびらとり)  
準優勝 すこしガンバル (農家&JA)  
第3位 スーピー (振内自治会ほか)

## 北海道4Hクラブ 会長就任



紫雲古津の水野弘樹さん(24歳)が、北海道4Hクラブ連絡協議会の会長に就任しました。

3年前に平取町4Hクラブに加入し、現在は11人のメンバーで活動しています。イナキビの栽培、販売をとおして昔の食文化を子どもたちに伝えたいと思います。

全道の4Hクラブの会員は1800人。4Hの活動日には仕事ができないが、経営や仕事につながる経験ができます。多くの人との交流でさまざまな知識を得ることもできるので頑張りたい。

全道の会長として水野さんの活躍を期待します。

## 義経雪あかり (2/2)

商工会平取地区主催の「義経雪あかり」が、ふれあいセンターびらとり周辺・本町市街地で行われました。



アイスクャンドルの優しいあかりで市街地をきれいに灯していました。

また、雪像ではピラトレンジャーが登場しました。



## PK グランプリ (2/3)



全道から、93チーム約700人の参加者が集まりPKグランプリを開催しました。

快晴の中で、気持ちよくゲームを楽しんでいました。昼食会での焼肉も美味しく味わい笑顔があふれていました。



## 冬季パークゴルフ大会 (2/16)



二風谷ファミリーランド第2パークゴルフ場は、パークゴルフ愛好者が除雪をし、コース整備しています。

冬のパークゴルフ場は、夏場と違いボールが一段とはっきりと見えます。さらに、滑ったり雪の中に入った面白味もあります。

大会は12~3月まで月1回行い、トータルのポイントを競います。3月16日が最終戦になります。平取から8人、日高から9人で17人が参加し、毎月楽しめています。



## 「トマトの里構想」シンポジウム (2/24)



「トマトの里構想」シンポジウムを開催しました。

内容は、①トマトの里構想の説明 ②びらとりトマト調査事業の報告 ③法人経営農場調査事務の報告 ④びらとり和牛銘柄定着事業の報告 ⑤トマトと和牛の新レシピ発表試食会 ⑥特別講演「トマトで心も身体も健康に」教育評論家 尾木ママでした。

構想の説明では、トマトを、買う一農産物直売所、食べる一レストラン、見る一トマトの館など10項目の具体的な説明がありました。新レシピでは、オリーブオイルを使用し、びらとり和牛とトマトを軽く焼き、割下で仕上げたものを試食しました。尾木ママからも「最高」の感想がありました。

尾木ママの講演では、日ごろおにぎりとトマトを食べていることや、トマトの栄養価のことなどをユニークに話してくれました。他にも、教育のこと困りごと相談のこと、さらに“尾木ママ”と呼ばれるようになったことを話し、会場は笑いが絶えず楽しい講演会となりました。



## 中学生の税をテーマとした ポスターコンクール



梅田唯花さん 浅道瑠菜さん

道が主催する「第32回全道中学生の税をテーマとしたポスターコンクール」で平取中学校の2人が入賞しました。

- ・「道税で輝く北海道」  
浅道瑠菜さん (1年)
- ・「道税 いっしょに輝け北海道」  
梅田唯花さん (1年)

## シシリムカ文化祭 (2/17)



今年は、第30回となるシシリムカ文化祭が開催されました。

アイヌ語教室子どもの部の紙芝居から、大人までの発表で、口承文芸や古式舞踊が紹介されました。

アイヌ語教室成人の部でのアイヌ劇「キツネのチャランケ」は、シャケを川からあげる光景などがあり、話しがとてもよくわかる劇でした。

文化祭終了後の懇親会では、30年を振り返った過去の映像をスクリーンで見せし、懐かしさを感じることができました。



## アトリエ野の花 仔馬の会 合同作品展

町内の「アトリエ野の花」「仔馬の会」の合同作品展を開催しました。

中学生から80代までの、25人の、油彩、水彩、パステル画、など38点の作品が展示されました。

それぞれの思いの入った作品に、来場者は真剣に見入っていました。



# 教育委員会からのお知らせ

## 平成30年度 平取町教育奨励表彰 5個人、3団体に授与！

2月25日、中央公民館において平成30年度平取町教育奨励表彰授与式が行われ、社会教育奨励表彰に2団体、芸術文化奨励表彰に3個人、スポーツ奨励表彰に2個人・1団体、合わせて5個人、3団体に対して、教育長より表彰状および記念品が授与されました。

受賞者一人ひとりの挨拶では今後の抱負が語られ、貝澤ユリ子さんによるアイヌ語弁論大会での素晴らしいスピーチも一部披露されました。

(当日、藤谷瞭至さんは欠席)

表彰を受けられた方々は次のとおりです。(敬称略)



### 【社会教育奨励表彰】

振内おはなしサークルほたる (代表 八田由紀子)

平成14年サークル発足以来、継続して読み聞かせなどの読書支援活動の社会貢献活動に尽力

ふれあいサークル (代表 門田信子)

昭和59年サークル発足以来、布の絵本・遊具の制作活動や読書活動の社会貢献活動に尽力

### 【芸術文化奨励表彰】

木幡 サチ子 アイヌの口承文芸の語り部として長年携わり、アイヌ文化の振興・発展に大きく貢献  
貝澤 雪子 アットウシ織の伝承者として長年制作に携わり、アイヌ文化の振興・発展に大きく貢献  
貝澤 ユリ子 第22回アイヌ語弁論大会(イタカンロー)口承文芸部門において、最優秀賞受賞  
(北海道アイヌ文化振興・研究推進機構主催)

### 【スポーツ奨励表彰】

<個人>

藤谷 瞭至 スノーボードのプロトリアルランキングでアマチュア1位(受賞2度目)  
:平取中2年

小山 椎名 剣道全道大会優勝・全国大会出場(受賞5度目):札幌日大高校3年

<団体>

平取中学校剣道部(校長 東峰秀樹)

内閣総理大臣杯授与第36回若鷲旗剣道大会北海道予選会準優勝・全国大会出場

## 4月からの学校や学年に向け、新たな決意を！安全・安心な春休みに！

4月には希望に胸をはずませ、大きなぴかぴかのランドセルを背負った小学校1年生の姿が、真新しい制服に身を包んだ凛々しい中学校1年生・高校1年生の姿が見られます。年度の代わりは子どもたちにとって、新しい学校や学年に向け、新たな決意を抱き計画を立てる良い機会でもあります。

入学や進級を前にして、大きな事件や事故にあうことなく有意義な時を過ごし、4月の始業式・入学式を迎えたいものです。事故や問題行動の未然防止のためにも、家庭・地域・学校などがより連携して、基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯)の確立、挨拶の励行など、子どもたちの成長を支援していきましょう。

【注意】交通安全(通学路の確認も含め)・河川の増水・ネットトラブル・不審者など



### 町内小中学校入学式・始業式

■ 4月5日(金) 小学校入学式・小中学校始業式  
小学校新入生(5校)36人

■ 4月8日(月) 中学校入学式  
中学校新入生(2校)46人

## 楽しく元気に ～高砂・明生・義経三大学合同学園祭～

教育委員会では健康や生きがいづくりを目標に、振内・貫気別・本町の町内3地区で高齢者大学を開設しています。

それぞれの大学で工作教室や料理教室、研修旅行などの12～13回の学習会と、2回の三大学合同学習会、1年の締めくくりとなる学園祭の年間15回程度開催しています。

これまでの三大学合同学習会では、『介護保険制度の説明会』や『いきいき百歳体操』の実践、『マジックの鑑賞』や『交流レクリエーション』など、生活に役立つ講演で知識を深めながら、楽しく交流しています。



今年度の合同学習会の第1回は、7月に開催。西光寺（日高町富川）の豊田靖史住職に「心にも点滴を…」と題して楽しくお話しいただきました。

第2回は11月に開催し、門別警察署生活安全係の方に、「特殊詐欺被害の未然防止について」と題し、近年多発する詐欺の被害者とならないよう、映像も交えながら分かりやすくお話しいただきました。



観測史上最強と言われた寒波が過ぎ去った2月14日には、1年間の活動の集大成となる三大学合同学園祭を、中央公民館大ホールで開催しました。

学園祭では、日ごろの練習の成果を発揮し、大学ごとに行なう合唱をはじめ、舞踊やカラオケなど約4時間にわたり30演目が披露されたほか、大ホール後方には、普段から各学生が取り組んでいる書道や手芸、写真などの素晴らしい作品の数々が展示され、訪れた方を楽しませました。

来年度は振内町民センターを会場に実施しますので、ぜひ、ご来場ください。



写真上から  
義経大学  
高砂大学  
明生大学

## 新入学生 募集中

平成31年度の新入学生を募集しています。  
研修旅行などもありますので、ぜひお申込ください。

【問合せ先】 教育委員会 TEL2-2619

# 教育委員会からのお知らせ

## 優勝目指し、一球入魂!! ～全町小学生ドッジボール大会～

2月23日、「第7回全町小学生ドッジボール大会」が町民体育館で開催され、人気行事の1つとなっているこの大会に今年も全町から多くの小学生が参加し、熱戦を繰り広げました。



今大会は、1～3年生の部5チーム、4～6年生の部7チームの総当たり戦で順位を決定しました。12チーム総勢125人の参加者が、チームごとにいろいろな戦略を考え実践し、優勝を目指して懸命にボールを追いかけていました。参加者だけでなく、応援にかけつけた保護者や先生方も真剣に試合に取り組んでいる姿を見て、熱くなる試合ばかりでした。結果は次のとおりです。



←1～3年生の部 優勝  
ぶったおすぞ!! チーム

4～6年生の部 優勝→  
SS (エスエス)



- ★1～3年生の部★ 優勝：ぶったおすぞ!! チーム 準優勝：チーム貫気別  
3位：振小イナズマナイン 4位：平小1.2年キラキラチーム  
5位：平小1.2年スーパートルネード
- ★4～6年生の部★ 優勝：SS (エスエス) 準優勝：Eaglr Eye 10persons  
3位：Be brilliant!! 4位：ザ・ドッチーズ 5位：マジ卍 (マンジ)  
6位：反乱軍 7位：BOXING CH

### 「町民体育館の日曜開館廃止のお知らせ」

町民体育館は、第2・第4日曜日の開館を実施しておりましたが、利用頻度が少ないことや、財政的な事情などにより日曜日の開館を継続していくのが大変難しい状況であるため、平成31年3月31日をもって廃止とさせていただきますので、みなさまのご理解をお願いします。

なお、事前に団体利用の届出をしていただければ、臨時開館として日曜日でもご利用いただくこともできますので、大会・行事などでご利用される場合は、ご連絡をお願いします。

※日程によってはお断りさせていただく場合があります。

#### 届出・問合せ先

平取町民体育館 (☎ 2-2749) 貫気別町民センター (☎ 5-5204) 振内青少年会館 (☎ 3-3469)

## 博物館コラム 「桂の木の舟と栓の木の舟の話」



二風谷アイヌ文化博物館内のチブ

チブ（木舟）をテーマにしたコラムは今回で終了しますが、最後にチブにまつわるウエペケレ（お話）を1つ紹介しましょう。

昔、狩が上手で何一つ不自由なく暮らしていた若者が2艘のチブを作りました。1艘はランコ（桂の木）、もう1艘は、アユシニ（栓の木）で作ったものです。ただ、ランコのチブの方が軽くて扱いやすいので、若者はいつもそちらばかり使っていました。そのうち、夜にな

ると毎晩、舟着場の方から、バシン!バシン!と音が聞こえて来るようになりました。ある晩、若者が、そーっと川まで下りてみると、なんと、2艘の舟が立ち上がり、お互いにぶつかり合い、喧嘩しているではありませんか。恐ろしくなった若者は家へ逃げ帰りました。

その後もずっと怯えていましたが、ようやく眠りについた時、今度は夢を見ました。そこには美しい女性が立っていて、「私はランコのチブです。どうしてあなたはアユシニのチブも作ったのですか？アユシニはとても心の悪い木で、男です。あなたが2艘もチブを作っておきながら私ばかり使うのでアユシニのチブは私に嫉妬し、毎晩私を攻撃してくるようになりました。女の私が勝てるはずもなく、私はとうとう、戦いに負けてしまいました。このままでは大変なことになります。村人全員にも災いが、ふりかかるでしょう。そうならないためにも、朝になったら、アユシニのチブを叩き壊してしまいなさい。小さな木っ端になるまで壊したら、すっかり燃やしてしまいなさい。それだけではダメです。山に行ってアユシニのチブを作った木の切り株を掘り起こし、払った枝も、くり抜いた木っ端も全て残らず集めて燃やしてしまいなさい」

夢の中でこのように言われた若者は、朝になると言われた通りにアユシニの舟を叩き壊し、全てを燃やしました。山にも行き、切り株や枝や木っ端も全て燃やしました。アユシニを燃やした煙は海の方へとたなびきました。これを見た若者の父親は、「今後6年間、お前は海の漁をしてはならない。さもなければ恐ろしいことになるぞ」と言いました。若者はその教えを守り、山と川だけで狩り、漁を行って暮らしました。そして月日は流れ、あともう少しで丸6年たつという頃、若者は「もう大丈夫だろう」という思いから、我慢できなくなって、とうとう海の漁に出てしまったのです。しかし、やはり呪いはまだ解けていませんでした。若者が沖まで漕ぎ出した時、海が裂けて大蛇のような化け物が浮かび上がり、大口を開けて襲いかかって来ました。若者は必死になって逃げました。鮫のカムイ、シャチのカムイなどの助けを得て、なんとか、やっとの思いで命からがら逃げ帰ることができたのです。しかし、その後は何か月も寝込んでしまい、やっと少し動けるようになったものの、体は不自由なまま、外見もすっかり変わり果て、すっかり年老いてしまいました。そして死ぬまで「アユシニでチブを作ってはならない」ということを人々に語り伝えたということです。

二艘のチブがぶつかり合って喧嘩する、という突拍子もないお話ですが、道具も精神が宿るカムイ（神）だと考えるアイヌの世界観がよく現れています。このお話は、「ウエペケレ集大成 / 萱野茂」で、平賀サダモさんの語りを聞くことができます。

（関根健司）

# あこやかだより

問 保健福祉課 ☎ 4-6112

## びらとりの「がん」について知ろう!! 子宮がん編

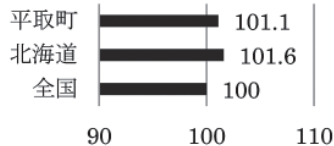
### 最近の子宮がん事情

子宮がんは、子宮の入り口（頸部）にできる「子宮頸がん」と子宮の奥（体部）にできる「子宮体がん」があります。この2つを総称して子宮がんと呼んでいますが、原因も発症のメカニズムも異なるがんです。

子宮頸がんは子宮がんのうち約7割を占めます。以前は発症のピークが40～50代でしたが、最近では20～30代の若い女性に急増しており、30代後半がピークとなっています。また、子宮体がんは50～60代で多く、全ての年齢層で年々増加傾向にあります。

平取町の子宮がんの死亡率は、SMR値より、全国、全道と同等であることがわかります。

子宮がんSMR比較  
第2期平取町データ  
ヘルス計画より



**SMR値とは...**  
平成17年から27年までのがん死亡数を数値化したもの。100を超えているものは全国と比較して高い割合であることを示します。



### 子宮がんの原因

子宮頸がんは、ほとんどはヒトパピローマウイルスというウイルスの感染が原因であることがわかっています。  
子宮体がんは、閉経以降にリスクが高くなります。また、女性ホルモン、肥満、高血圧、糖尿病とも関わりがあるといわれています。

### 子宮がん早期発見のために

子宮がんはがん検診で早く見つけることができます。また、早期発見・早期治療で完治が見込めます。2年に一度は検診を受診しましょう。気になる症状がある場合は、速やかに受診しましょう。

### がん検診

子宮頸がん検診は子宮の入り口付近を、子宮体がん検診は子宮の内部を綿棒などで軽くこすって細胞を採り、顕微鏡で調べる検査が一般的です。

胃がんや大腸がんの検査のように、検査前に絶食したり、下剤を飲んで腸の中をきれいにしておくような処置もなく、比較的簡単に受けることができる検査です。

### 自覚症状（気になる症状）

不正出血、おりものの増加、下腹部痛などです。少しでも気になる症状があるときには、速やかに医療機関を受診しましょう。

### 検診から始める健康ライフ

町では、ふれあいセンター、札幌バス検診、また、個別で苫小牧市内の医療機関での検診など検診体制を整えています。2年に一度は検診料金の助成もあります。

受診する際には、事前に保健推進係に申し込みなどが必要ですよ。

また、まちだよりでもお知らせしていきますので、ご確認ください。

### 問合せ先

保健福祉課保健推進係  
（ふれあいセンターびらとり）  
☎ 4-6112

受けよう!  
がん検診!!

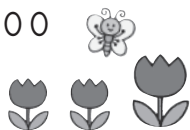


# 図書館へいこう

○開館時間 火～金曜日 9:30 ~ 18:00  
土・日曜日 9:30 ~ 17:00

○休館日 月曜日・祝日

※月曜日が祝日の場合は、その翌日も休館



## 図書館カレンダー

4月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

は休館日です

## 新着図書

### 【小説・エッセイ】

『そして旅にいる』／加藤千恵  
『炯眼に候』／木下昌輝  
『かわたれどき』／畠中恵  
『ぼくはきっとやさしい』  
／町屋良平  
『奈緒と響音』／佐伯泰英  
『新章神様のカルテ』  
／夏川草介  
『わるもん』／須賀ケイ  
『散歩するネコ』／群ようこ  
『人生後半、はじめまして』  
／岸本葉子

### 【医学・社会・その他】

『読書する人だけがたどり着ける場所』／齋藤孝  
『「肺炎」に殺されない！36の習慣』／生島壮一郎  
『小休止のすすめ』／ヒロミ  
『もっと言ってはいけない』  
／橋玲

### 【家庭・趣味】

『リノベーションでつくる心地よくておしゃれなわが家』  
／主婦と生活社  
『絵本作家のブルース』  
／長谷川義史  
『もっと音楽が好きになる上達の基本パーカッション』  
／富田篤

### 【児童書】

『こどものための防災教室 身の守りかたがわかる本』  
／今泉マユ子  
『だれの手がた・足がた？』  
／有沢重雄  
『十年屋2 あなたに時をあげましょう』／廣嶋玲子

### 【絵本】

『あめだま』／ペク・ヒナ  
『さくらもちのさくらこさん』  
／岡田よしたか  
『歯のえほん』  
／エドワード・ミラー

## 芥川賞・直木賞受賞作品 入荷しました！

芥川賞 『1 R 1分34秒』

／町屋良平

『ニムロッド』

／上田岳弘

直木賞 『宝島』／真藤順丈

## おすすめ紹介



『あずき』（かがくのとも絵本）

／荒井真紀・作

（福音館書店）

お赤飯、お汁粉、さくらもち、よもぎだんご、かしわもち…。

おめでたい席や行事で食べることの多い「あずき」の生長を学べる絵本です。芽が出て、花が咲いて、実がなって、きれいな赤色になるまでの様子を描いています。一粒の豆から何粒のあずきがとれるのでしょうか？表紙のおいしそうなお菓子の絵を見ると、お腹が空いてきます。



## 図書ワゴン（移動図書館車）運行日程

### 4月4日（木）

【振内地区】 10:00～11:00 山の駅ほろしり館

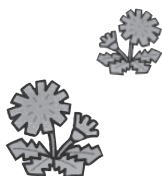
【貫気別地区】 11:30～12:30 貫気別生活館

【二風谷地区】 13:45～14:15 二風谷生活館

【紫雲古津地区】 14:45～15:15 紫雲古津生活館

■貸出期間は次回の巡回日までになります。

■利用者カードが無くても貸出できます。



【問合先】 平取町立図書館

TEL 01457-4-6666

FAX 01457-4-6871

メール risu2@guitar.ocn.ne.jp

# 今月のワンショット

シシリムカ文化祭～子どもの部～（2月17日）



役場関係  
電話番号

- 平取町役場 ☎ 2-2221
- 総務課（代表） ☎ 2-2221
- まちづくり課 ☎ 2-2222
- 産業課 ☎ 2-2223
- 税務課 ☎ 2-2224
- 出納室 ☎ 2-2225
- 建設水道課 ☎ 2-2226
- 議会事務局 ☎ 2-2227
- アイヌ施策推進課 ☎ 2-2341
- 農業委員会・土地改良区 ☎ 2-2695
- 観光商工課 ☎ 3-7703

ふれあいセンターびらとり ☎ 4-6111

- 保健福祉課
- 保健推進係・福祉係 ☎ 4-6112
- 介護支援係・介護保険係 ☎ 4-6114
- 町民課 ☎ 4-6113
- 児童館 ☎ 2-3026
- 子ども発達支援センター ☎ 2-3400
- 地域包括支援センター
- 「ほほえみ」 ☎ 2-3700
- 図書館 ☎ 4-6666

- 平取町教育委員会
- 中央公民館 ☎ 2-2619
- 町民体育館 ☎ 2-2749
- 二風谷アイヌ文化博物館 ☎ 2-2892
- 沙流川歴史館 ☎ 2-4085

役場振内支所 ☎ 3-3211

役場貫気別支所 ☎ 5-5204

平取町国民健康保険病院 ☎ 2-2201

平取町社会福祉協議会 ☎ 4-2267

平取町外2町衛生施設組合 ☎ 2-2024

平取消防署 ☎ 2-2361



ホームページ QR コード

## すずらん短歌会詠草

新聞に学友の死ありて呆然と  
ありし日の面影たぐりておりぬ 中沢 三二子

人生も山あり谷ありそれぞれに  
良くも悪くもマラソンと同じ 相田 のぶ子

うら山の小高い丘に鹿の群  
人を恐れず我を見下す 中原 千鶴子

遠く居る子等思いて過す日々  
老いて思うは賑やかしころ 石川原 多満代

自転車で風受け走る小豆島  
しびれる寒さ忍耐修行 熊谷 厚子

「すずらん短歌会」入会者募集！

希望者は、中央公民館生涯学習課社会教育係へ



### 有料広告

入進学おめでとうございます！

## 入進学内祝い

※出産内祝い ※全快祝い  
※法要・記念品  
※カタログギフト

贈り物の専門店 ケーズデンキさんとなり

**ダイソー** 小牧市新開町4丁目2-12 ☎ (0144) 53-0901

二百坪の売り場面積、豊富な品揃えでお待ちしております。

### まちの人口と世帯数

人口	5,032 人 (△25)
男	2,438 人 (△17)
女	2,594 人 (△8)
世帯数	2,540 世帯 (△12)

( )内は前月比 2月末現在